

# 一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団の概要

## 沿革

北海道信用金庫ひまわり財団は、昭和56年10月30日に札幌信用金庫（現北海道信用金庫）が創立60周年を迎えるにあたり、記念事業として設立した一般財団法人です。

平成30年7月2日、一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金と一般財団法人北海道信金地域振興基金が合併し、「一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団」と名称を変更しました。

## 目的と事業

### 1. 目的

道央圏及びその近郊（以下、地域という）における社会福祉の向上に寄与するとともに、民間社会福祉事業の振興を図ること、並びに地域住民、事業者等の知識や資質の更なる向上と文化の振興を図り、もって地域経済、文化の一層の発展に寄与する。

### 2. 事業

- (1) 地域の社会福祉法人並びに社会福祉に係る団体・個人に対する助成金の交付
- (2) 地域の住民・事業者等に対する経済・文化等の知識向上の機会を提供するための講演会の開催
- (3) 地域の住民・事業者等の生活の向上、事業の発展に貢献するため、当該地域の景気動向、経済状況等の情報提供を目的とした情報誌の発行
- (4) 地域の住民・事業者等に対する芸術的音楽を鑑賞する機会を提供するためのコンサートの開催

### 3. 福祉奨学金制度

平成3年度から、助成事業の一つとして母(父)子家庭の高校生を対象にした福祉奨学金制度を実施しております。本奨学金は、公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会を通じて贈呈をしております。

## 役員並びに評議員 （敬称略、就任順に掲載しております）

【役員】理事長	吉本 淳一	【評議員】評議員	田中 正人
理事	塩野 章	評議員	長尾 寿一
理事	山田 正	評議員	塚本 祥造
理事	山田 實	評議員	茂野 晃示
理事	福山恵太郎		
理事	太田 堯		
理事	西田 覚		
監事	前田 繁利		
監事	佐林 史明		

## 基本財産と事業実績

財団の基礎をなす基本財産は、設立時に札幌信用金庫（現北海道信用金庫）から頂いた指定寄付金2,000万円をもってスタートしました。

その後、同金庫並びに広く一般の皆様からの寄付金等により、令和3年3月末日の正味財産残高は5億円、内基本財産残高は4億300万円となっております。

この間、事業内容の充実に努め、基本財産の運用利息収入と寄付金等の浄財をもとに、毎年地域の各種社会福祉施設や社会福祉に係る団体・個人等に助成を行っております。

これらの助成金（品）は、福祉施設の充実や運営費用の一部として有効に使われ、地域の社会福祉の向上に寄与しております。

### 1. 助成事業

#### ●令和2年度助成先の内訳(組織別)

(単位：万円)

一般の助成											福祉奨学金		合計		
社会福祉法人		特定非営利活動法人		公益社団法人		一般社団法人		公益財団法人		その他任意団体等		母(父)子寡婦家庭			
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
81	657	23	138	6	38	5	25	1	5	14	74	25	150	155	1,087

※社会福祉法人には社会福祉協議会31団体を含みます。

●設立以来の実績 助成件数累計 3,306件 助成金額累計 2億3,620万円

### 2. 講演会事業

#### ●北海道信用金庫 経済講演会の共同開催

【令和元年度実績】（令和2年度はコロナ禍のため開催中止）

札幌開催 令和元年5月16日（木）13：30 札幌ビューホテル大通公園

小樽開催 令和元年5月17日（金）13：30 小樽市民センターマリナーホール

入場者数 977名（内訳 札幌会場…687名、小樽会場…290名）

講師 伊藤 元重氏（東京大学名誉教授、学習院大学国際社会科学部教授）

テーマ 「日本経済の行方」

### 3. 情報誌発行事業

#### ●北海道信用金庫 ビジネスレポートを共同発行

### 4. コンサート事業

#### ●北海道信用金庫 札幌クラシック&ポップスConcertの共同開催

【令和元年度実績】（令和2年度はコロナ禍のため開催中止）

令和元年11月3日（日・祝） 札幌コンサートホールKitara

入場者数 1,922名

## ご寄付の受入状況

設立以来、北海道信用金庫の本支店・出張所の窓口で「小さな善意 むれあう心」をキャッチフレーズとした募金箱を設置し、ご来店のお客様にご協力をお願いして、現在まで多くの善意が寄せられております。

これらに加え、北海道信用金庫のお取引先や各団体の皆様から賜りました寄付金等を合せますと、お寄せ頂いた浄財の累計額は4億598万円を超えるまでとなっております。

当財団の事業は、基本財産の利息収入と皆様からの寄付金等の浄財を原資としており、今後の事業活動をさらに充実させるために、多くの善意を募っております。